

あなたの安心

洗剤を使わずに、台所や住居の汚れが落とせる物質として人気があるのが重曹だ。

重曹の化学名は「炭酸水素ナトリウム」。粉末で、水に溶かすと弱アルカリ性を示す。人体に害はなく、環境を汚す心配もない。

工業用、食品添加物、医薬品の3種類が市販され、掃除には工業用を使うのが一般的。食品添加物の重曹で、調理や歯磨きのほか、掃除や消臭剤に使い回す手もある。

重曹は、主に細かい粒子に

よる研磨作用で汚れを落とす。漆器やニス塗りの家具などには使えない。「決定版

重曹大事典」(ブロンズ新社)などの著書のある佐光紀子さんは、ふたに直径5ミリ程度の穴が複数開いた容器に入れておくことを勧め

る。少量ずつ汚れやスポンジに振りかけることができる。茶わんの茶渋やガスコンロ

周りの油污れ、浴室の湯あか

上手に洗う⑤

などに幅広く使える。油污れは、重曹を振りかけて油を吸わせ、ふき取る。鍋の焦げ付きは、重曹と水を入れて煮立て、数時間置いてから水を流してこすると、落とせる。

「重曹と一緒にクエン酸水か酢水を用意して」と佐光さん。クエン酸水は市販の粉末を水に溶かし、酢水は食酢を使う。スプレー容器に入れると使いやすい。水に溶かした重曹は乾くと白く粉を吹く。クエン酸水や酢水をスプレーして中和させ、からぶきすれ

茶渋や油污れには重曹も

重曹の特徴は？

- ① 人体や環境にやさしい
- ② 粒で汚れをこすり落とす
- ③ 洗浄力は弱い



The Asahi Shimbun

佐光紀子さんが使っている掃除道具。重曹は、ふたに複数の穴が開いた容器に移し、クエン酸水はスプレー容器に入れている。

ばきれいに仕上がるという。ただ、洗剤に比べれば洗浄力は低い。横浜国立大の大矢

勝教授は「重曹の洗浄力の大部分は研磨作用。洗剤は、こする手間を省けるよう開発され

ており、忙しい人には洗剤の方が便利では」。佐光さんも「何にでも使える『魔法の粉』ではない」とくきを刺す。

アルカリ性が弱いので洗濯には不向きだ。情報サイト「石鹼百科」を運営する猪ノ口幹雄さんは、汚れの軽い衣類では、重曹に似た性質でアルカリ性がやや強い粉末状の「セスキ炭酸ソーダ」や「過炭酸ナトリウム」(酸素系漂白剤)を薦める。後者は薬局などで購入できるが、洗濯時には40度ほどのお湯が必要だという。

(吉川一樹)

Ⅱ次は4日から「赤ちゃんのアトピー」です。